

カーボンフットプリント制度とは、

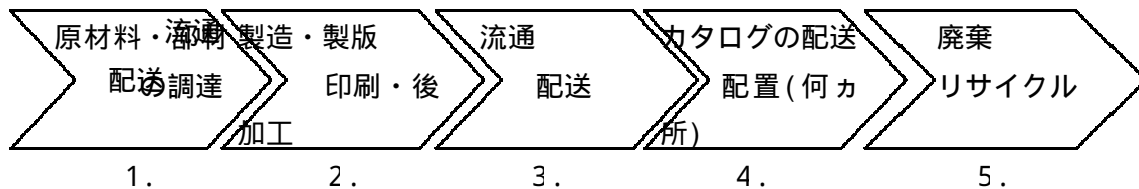
「見える化」の1手法であって削減を促す手法である。

経済産業省指針より

カーボンフットプリントとは、「低炭素社会づくり行動計画」に基づき、見える化の1つとして、「製品(商品又はサービス)の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガス(GHG)の排出量をCO₂に換算して、当該製品に表示する仕組み」の事を言う。

LCAを厳格にトレースして、CO₂排出量を計算する。それは商品全体をいう。

すべてをCO₂排出量に換算する。



換算基準をPCR(Product Category Rule)商品種別算定基準に基づいて排出原単位を決める。これは、消費者の混乱を防ぎ、企業や業界独自の算定ルールで乱立を防ぎ、避けるため、製品ごとに決められた基準である。

課題として実験に参加した企業・団体から、自社でも全データを集めるのも難しい、まして取引先・協力先のデータを集めるのは一層難しい。と言われている。

実験に参加した企業から「標準的な使用法を書くことにより、無駄なエネルギーを消費しない使い方を示せる事に気づく」という効用もあった。

我々の課題は、すべての工程を網羅しないとCFPの表示はできない、というCFPの定義の壁であった。結局印刷業界は、中間財の製品とみなされ、印刷会社がCFPを印刷物に表示できなくなったのだ。

日本WPAは、CFPの表示を避けざるを得なかった。そこで環境省が標榜し、管轄しているカーボンオフセットへと舵を切り替えた。

カーボンオフセット(C/O)とは、

「見える化 + 相殺(削減)」である。

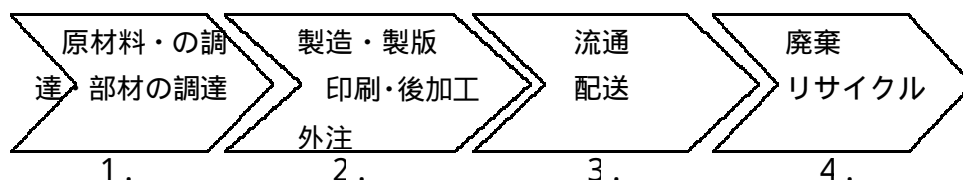
日本WPAは、(社)カーボンオフセットジャパン(COJ)とC/Oの小口販売ができる仕組みを作り上げた。

1)日本WPAが翼下の会員に代わってCOJの会員になることで、カーボンオフセット

(C/O)の受付代行が出来る仕組みを作った。また、COJへの会員各社の会費は免除された。ただし、PGGの排出単位を使わせていただいているLCA日本フォーラムへの加入は、義務(年会費3万円)となっている。

- 2.通常何C/Oの取引量は10t、何100t単位でしかできないが、この仕組みにより我々中小企業が小口化したい1単位の取引が可能になった。これには、事務局手数料は一切載せない、と言う条件が付与されている。会員が上載価格を設定するは自由である。
- 3.このC/OのCO2計算は不正使用を防ぐため、会員はPGGソフトを使って計算し、日本WPAがその計算の精査指導をすることでコンプライアンスを履行している。中小企業庁の定義する中小事業者はCOJの会員にならなくてもよいが、いわゆる、大企業者は、直接、COJの会員になる必要がある。
PGGで計算されて、計算に誤りのない精査を受けた会員には、カーボンオフセット証明書が発行されるが、これはまだ、購入を証するものではなく、CER排出権の取得でこれを期末に無効化するという一種の約束手形である。

4. CFPとC/Oとの違い



CFPは、CO2の排出量を示すことによって、同種の物と比較してCO2の低い物品を購入させることで、メーカーに削減競争を促し、購買者にその商品を選択する基準を示す。故に、商品にまつわる全行程の排出量が表示されてないといけない。(中間財だけの表示は認めない)

我々のC/Oは、印刷製品の上記の行程の排出量をPGGで計算し、表示された製品の排出量をオフセット(相殺)された事を示す。故に、発生したCO2量を相殺することで、CO2排出を見かけ上、発生させていないことになる。CFPより踏み込んだ、直接的な社会貢献的な方策だと自負している。

我々のカーボンオフセットは、CER再生可能エネルギーだけを対象とした、排出枠を取得している。

今年3月にはじめて、その再生可能エネルギーから排出権を取得してカーボンオフセット、無効化し京都メカニズムに基づき政府取引口座に移譲した。

(カーボンオフセット無効化証明書を発行)

5. PGGは、2009年 LCA日本フォーラムの大会に於いて、権威ある会長賞を頂く。
 現在は、我々日本 WPA のみで使用できる大きなアドバンテージを持っている。
 このPGGを使用するには、計4回の研修会を受講する義務がある。
 これは、技術を学ぶだけではなく、温暖化防止のために、印刷製作の全体を思考、
 工夫して、どうすれば良いか、クライアントに啓蒙提案することをしたいからだ。
 また、運用は、事務局で審査をして、納得がいかないものは、手抜きのある申請書
 は、返却、やり直しを履行している。
 最終的には、営業ツールとして使って頂き、環境に非常に意識の高い水なし印刷
 を使用した印刷会社として、印刷物を差別化商品として確立して頂きたい。環境に
 対してとかく、劣勢をたどっている印刷物の地位向上のために、社会的貢献をして
 いる商品であることを知らしめたい。
 以上の趣旨に基づき、WPA、COJとの折衝を重ね、下記のバタフライ CO2 ロゴ
 を制定した。このロゴの浸透を図るべく、NEW環境展などに出展して、一般企業に
 広報をして行く。

新バタフライCO2ロゴ

このPDFは、Adobe Illustrator 8.0.1以降で開けます。
 画像は埋め込んであります。

ガイド

可変数値入力について
 書体：Times Roman
 左右サイズ：ガイドに合わせる
 文字高さ：ガイドに合わせる
 文字下：ベースラインをガイドに合わせる

例：

8	24
123	8,888